



Safari 中間報告会



10月5日(水)に、2年生が Safari (総合的な探究の時間) の中間報告会を行いました。中間報告会は4月から取り組み始めた自身のテーマについて、文献調査や実験、フィールドワーク(FW)等から得られた知見と今後の課題をポスターセッション形式で発表する中で自分の探究を評価してもらい、現時点での成果を確認する機会になっています。また、宮津学舎の総合的な探究の時間は、宮津学舎の同級生や1年生、教員、PTA 役員の方々とどまらず、加悦谷学舎の1年生や他校の先生方、大学教授、地域の有識者等さまざまな方をお招きして開催しており、多くの考え方に触れる機会にもなっています。

生徒は発表会が始まる前は自分の探究がきちんと伝わるか不安に感じている様子もありましたが、発表後はいつもとは違った視点から意見を交換することで自身の探究テーマをさらに深めることができました。また、新たな方向性を

見つけることにもつながり、今後の探究活動への期待が膨らんでいる様子でした。なお、中間報告会での最後の講評では、毎年報告会に参加して下さる外部講師の方に、年を経るごとにプレゼンテーション能力が伸びているという評価をいただき、探究内容とともに自身の表現力の成長を実感する機会にもなりました。1月に行う予定の最終報告会に向けて、各探究テーマのさらなる深化に期待しています。(以下は、今年のテーマ例)

●金引の滝の生態系の調査

「僕たちのグループでは金引の滝周辺の生態系調査をしています。テーマ設定の理由としては、金引の滝の生態系に関する文献がなかったため、僕たちで解明していきたいと思ったからです。これまでの調査で植物や魚などの分布が少しずつ分かってきます。今後は専門家などからの意見を参考に発見した生物をまとめた図鑑を作り、特定の生物についてさらに詳しく探究していくつもりです。」

石倉広翔 (HR22)

●神社から宮津と加悦を比較

「僕たちは実際に近くの神社に足を運び、FWを行いました。FWで見つけたものについて文献を読み、調査を深めていきました。中間報告会では、外部講師の方にたくさん来ていただき、様々な視点からの意見をいただきました。今後はそれらを参考にしながら客観的かつ具体的なデータづくりを目標に最終報告会に向けて頑張りたいです。」齋藤駿斗 (HR24) 山口章介 (HR24)



英検準一級合格

実用英語技能検定(英検)の準一級に3年生の西村知尋さんと岩佐陽菜さんが見事合格しました。英検準一級は大学中級程度の英語力を要するとも言われ、四技能すべてにおいて高い運用能力が求められます。また、流暢に英語を話すのではなく、質問に対する自身の考えを適切な英語で表現する能力も評価されます。大学生でも合格するのが難しく、高校生にとっては非常に難易度が高い試験ですが、2人は宮津学舎入学の段階からコツコツと努力を積み重ね、受験勉強と並行しながら合格を勝ち取りました。2人の今後のさらなる飛躍を期待しています。

「私は高校1年生の時から英検準一級取得を目標にし、英語力向上に努めてきました。一度は不合格でしたが、諦めずに努力したことで目標を達成することができました。半年以上前から勉強をし、過去問で満点近くとれるまで繰り返し問題に取り組みました。英字新聞を講読したり、TED Talks を視聴し、生きた英語に触れることを大切にしました。これからもさらに英語力を高め、夢の実現のために精進していきたいです。」岩佐陽菜 (HR34)

「中学校3年生の時、英検に合格した兄の姿を見て自分も英検を意識し始めました。準一級は二級に比べてスピーキングで自分のアイデアを表現するような場面も多いのでとても苦労しました。苦手意識があったスピーキングは先生に面接練習を繰り返し指導していただき、なんとか合格することができました。この合格を自信にして、次のステージでも頑張りたいと思います。」西村知尋 (HR34)



3年人権学習講演会

9月30日（金）、3年生を対象に高校生活最後となる人権学習講演会を実施しました。

「同和問題の理解と人権尊重」という演題で長年、差別解消に向けて講演活動に取り組んでおられる外部講師の方をお招きして、なぜ差別は許されないのかとともに、愛情・友情・人の命など、人生の中で大切にしなければならないものについて熱く語っていただきました。特に講師の方が最後に生徒たちに送った差別にも立ち向かえるような仲間、友達をつくってほしいという言葉は、卒業を前にした3年生に強く響いたのではないのでしょうか。残りの学校生活を悔いのないように過ごし、これからの人生を豊かなものにしてほしいと思います。



日本植物学会で優秀賞受賞

9月17日（土）、京都府立大学において、第86回日本植物学会高校生研究ポスター発表が開催されました。「丹後地域の各種タンポポの分布と種子における特性の違い」について、藤本和奏さん（HR32）、石野優衣さん（HR23）、八木美咲さん（HR24）が発表し、見事優秀賞を獲得しました。これまでの調査・研究が高く評価されると同時に、新たな知見を得ることができました。

「先輩が行ってきた研究（実験内容やそれに基づいた考察など）は全国に通用するほどレベルの高いものだということが分かりました。今後は先輩とやってきた調査や実験をまとめて発表したり、自分のテーマ（ケンサキタンポポとヤマザトタンポポの区別）の研究を頑張って、丹POPO 班としてさらに成長していきたいと思っています。」

八木美咲（HR24）



学部学科ガイダンス

10月7日（金）、1年生を対象に学部学科ガイダンスを開催しました。学部学科ガイダンスでは、28分野の中から興味・関心の強い3つの分野を事前に選び、その分野ではどのような勉強をするのか、どのように社会とつながっているのかを外部講師の先生方に講義していただき、それぞれの分野についてより具体的に理解していききました。ガイダンスを受けて、生徒はこれまで漠然としたイメージで捉えていた分野や職業について、具体的な視点を持ち、進路に対する考えをより明確にすることができました。また、自分の進路に不安を持つ生徒も、その分野で活躍する外部講師の方のお話を聞くことで、その分野についての期待をふくらませているようでした。

「同じ看護のガイダンスでも大学と専門学校では違いがあったので、両方の理解を深めることができました。今のうちにやっておいた方がいいこと、できるようになっておくべきことを教えてもらったので、これからの学校生活に活かしていきたいです。」 坂根ひなの（HR12）



部活動の活躍

- ☆硬式野球部
令和4年度秋季京都府高等学校野球大会 ベスト8（丹後緑風高校との連合チーム）
- ☆ボート部
第77回国民体育大会ボート競技 出場 少年女子ダブルスカル 6位入賞
少年女子ダブルスカル
太田心菜（HR31） 竹原李花（HR35）
少年女子舵手付きクォドルプル
前尾明里（HR24） 宮前千洋（HR31）
- ☆ヨット部
第77回国民体育大会セーリング競技 出場
少年女子レーザーラジアル
杉本妃南（HR33）
少年女子420級
岡本さらら（HR24） 吉田楓（HR14）
- ☆陸上競技部
第55回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 出場
2年男子やり投 松本樹楽（HR25） 6位入賞
2年男子砲丸投 松田祥吾（HR25）
2年男子円盤投 松田祥吾（HR25）
2年男子走高跳 三宅陸斗（HR25）
2年女子やり投 佐々木温代（HR24）
1年男子円盤投 藤原翼（HR13）
1年男子走高跳 井本蒼一郎（HR13）

宮津わかもの会議に参加しました。

9月23日（金）、2名の生徒が宮津わかもの会議に参加しました。宮津わかもの会議とは宮津高校の卒業生をはじめ、福知山公立大学に通う大学生や地域の有識者が集まり、宮津市の未来について語り合うものです。「これからの地域がより良くなるためにはどのような行動が必要となるのか」など、この宮津市で育った若者の目線から地域の在り方について意見を交換する良い機会となりました。また学校外での活動として、地域の方とつながる機会にもなり、参加した生徒はよい刺激を受けている様子でした。

「僕は地域活性化やSDGsに興味があり、宮津わかもの会議に参加しました。大学生や社会人の方、他校の生徒と話し合いができるという機会は少ないので良い経験になりました。当日は専門家の方からSDGsについてのお話を聞き、18番目の目標を考えるという目標に向けて話し合いをしました。次も興味深い話ができるのではないかと今から楽しみにしています。」 堀口大翔（HR23）



個別相談会のご案内

11月から12月にかけて、宮津学舎にて個別相談会を4回予定しております。この個別相談会では、これまでオープンスクール等で説明した令和5年度入学者選抜や宮津学舎の教育活動の特色に限らず、入学を検討する上での疑問、学校生活の具体的な様子についての質問にお答えします。なお、この個別相談会が入学者選抜前最後の説明会になります。

＜個別相談会の予定＞

- 11月15日（火）午後6時～
- 11月19日（土）午前9時～
- 12月15日（木）午後6時～
- 12月17日（土）午前9時～

みなさんの疑問や質問にお答えします。

各中学校より案内を受け取り、申込をしてください。たくさんの参加をお待ちしております。

